

diBar

液晶 QR 対応 eTicket Series

説明書



ウェルコムデザイン株式会社

U R L : www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

東京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252

神戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
S D C 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F

TEL. 078-993-6010(代) FAX. 078-993-6020 [本部 / SDC]

(※) SDC stands for Support and Delivery Center

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名称は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より 1 年間とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てセトバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足 J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

- ✧ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ✧ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属の AC アダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ AC プラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ AC プラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず 0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い 0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

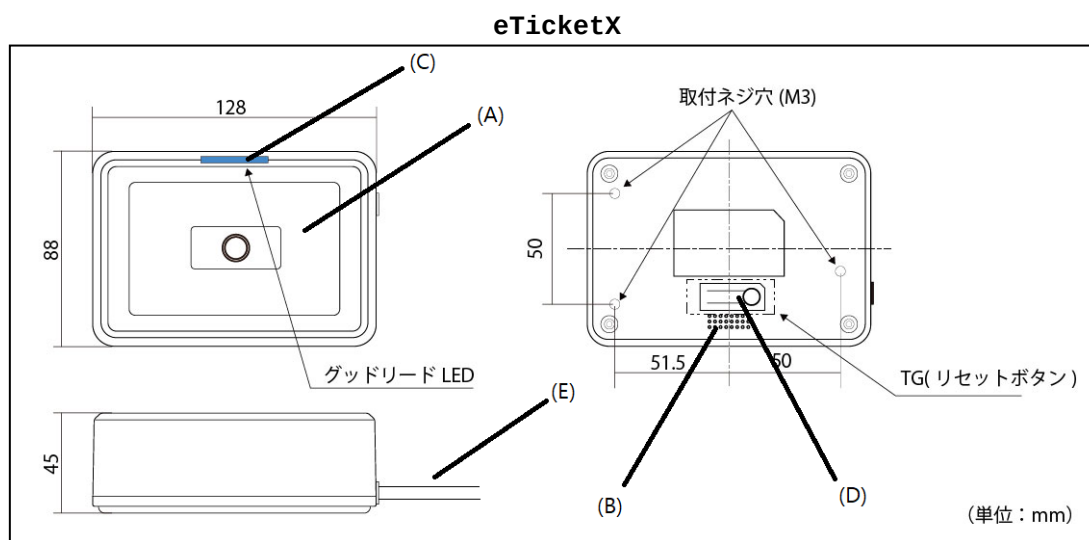
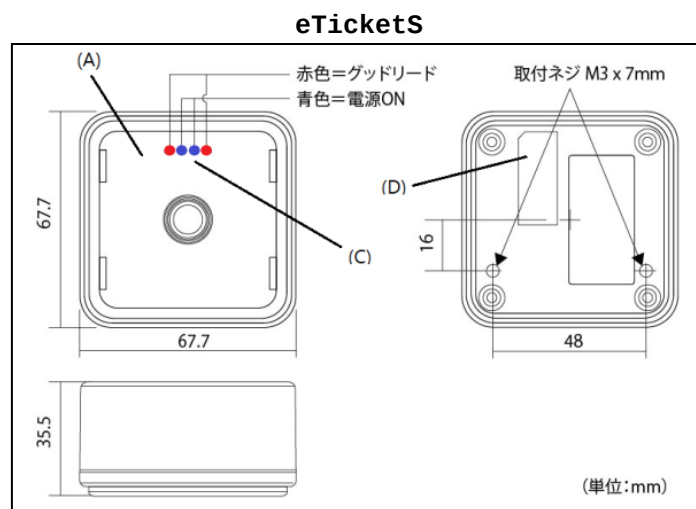
1. はじめに	6
1.1. 外形寸法と各部名称・働き	6
2. システムソフト	7
2.1. 工場出荷時デフォルト	7
2.2. ファームウェアバージョン	7
3. TTL232 インターフェイス	8
3.1. ポート 9	
3.2. データビット/パリティ/ストップビット	10
4. USB インターフェイス	11
4.1. HID POS インターフェイス	11
4.2. USB キーボード インターフェイス (HID)	11
国別キーボード	12
大文字/小文字変換	15
4.3. USB-COM インターフェイス	16
5. 読み取り動作に関するパラメータ	17
5.1. 反転ビットモード	17
5.2. イルミネーション (読み取り照明)	17
5.3. グットリッドビープ	18
5.4. グットリッドビープ 音色	18
5.5. グットリッドビープ 長	19
5.6. グットリッドビープ 回数	19
5.7. 読み取りデレイ	20
5.8. 読み取り照合回数	21
5.9. 画像転送	21
5.10. シリアルトリガモード	22
6. データフォーマット	23
6.1. ターミナ	23
6.2. プリフィックス	23
6.3. サフィックス	24
6.4. 全プリフィックス/サフィックス消去	24
7. 読み取りコード	25
7.1. 全コード 読み取り	25
7.2. コード 128	25
7.3. JAN/EAN-8	26
7.4. JAN/EAN-13	28
7.5. UPC-E	30
7.6. UPC-A	32
7.7. インターリーブド 2/5	34
7.8. インターストリアル 2/5	35
7.9. コード 39	36
7.10. コーダバッチ (NW7)	38
7.11. コード 93	39
7.12. GS1-128	40
7.12. MSI	40
7.14. PDF417	42
7.15. QR コード	43
7.16. Data Matrix	44
7.17. Maxi コード	44
7.18. Aztec コード	45
補足 A. ASCII コード表	46
補足 B. 16 進数コード表	47
補足 C. プリフィックス/サフィックス用ファンクションキー	49
補足 D. 読取コード桁数を設定する	51
補足 E. サブフレームコード	52
修理依頼書	54

1. はじめに

この度は、弊社 diBar eTicket シリーズ (以下、バーコードリーダ) をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、バーコードリーダのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているQRコードを読み取ることで、バーコードリーダの動作や読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にしても設定が消えることはありません。

1.1. 外形寸法と各部名称・働き



記号	名称	働き
A	読取ウィンドウ	QRコードやバーコードを中央部にかざすと、読み取りを行います。エリファイメージを搭載しているため、360°の読み取りが可能です。但し、読み取りパフォーマンスは、周囲照度、液晶明るさ、コード品質などに影響を受けます。 出荷時、読取ウィンドウは、透明フィルムで保護されています。剥がしてからご利用ください。
B	ビープ音	ビープ音を発します。
C	ステータスLED	リーダステータスを表示します。 青色LED 常時点灯 電源がで点灯します。読み取り待機中は、点滅します。 赤色LED 1回点灯 読み取りに成功すると、1回点灯します。eTicketXの場合、青色+赤色点灯で、紫色に見えます。 赤色LED 常時点灯 バーコードリーダの異常時に、常時点灯します。
D	リセットキー	10秒間長押しすると、ビープ音鳴動し、インターフェイス以外のパラメータを初期状態に戻します。また、トリガボタンとしても動作します。
E	インターフェイスケーブル	RS232C 又は USB インターフェイスケーブルが付属します。

2. システムマツド

2.1. 工場出荷時デ ィフォルト

下記のマトリクスコード をスキャンすることで、工場出荷時のデ ィフォルト値にリセットすることが可能です。



[注意]

元の設定値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

2.2. フォームウェアバ ージ ョン

下記のマトリクスコード をスキャンすることで、フォームウェアバ ージ ョンを出力することが可能です。



3. TTL232 インターフェイス

下記のマトリクスコードをスキャンすることで、TTL232 インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。

**[注意]**

元の設置値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

パラメータ	デフォルト値
ボーレート	115.2Kbps
パリティ	無し
データビット	8ビット
ストップビット	1ビット
フロー制御	無し

3.1. ホールシート



2400



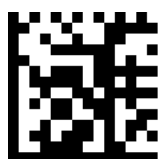
4800



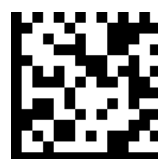
9600



19200



38400



57600



115200

3.2. データビットパリティ/ストップビット



パリティ無し/8データビット/1ストップビット



パリティ無し/7データビット/1ストップビット



パリティ無し/7データビット/2ストップビット



パリティ偶数/8データビット/1ストップビット



パリティ偶数/7データビット/1ストップビット



パリティ偶数/7データビット/2ストップビット



パリティ奇数/8データビット/1ストップビット



パリティ奇数/7データビット/1ストップビット



パリティ奇数/7データビット/2ストップビット

4. USB インターフェイス

4.1. HID POS インターフェイス

下記のマトリクスコードをスキャンすることで、HID POS インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。



4.2. USB キーボード インターフェイス(HID)

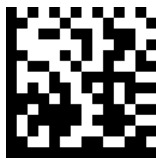
下記のマトリクスコードをスキャンすることで、USB キーボード インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。



[注意]

元の設定値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

国別キートン



USA



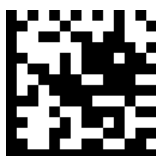
UK



デンマーク



フランス



フィンランド



アイスランド



イタリア



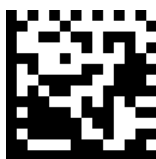
ルクセンブルグ



アルバニア



ベルギー



ボスニア



ブラジル



クロアチア



チリ



コスタリカ



エストニア



ドイツ



ギリシャ



ハンガリー



アイルランド



ラトヴィア



リトアニア



マケドニア



スペイン



ポーランド



ポルトガル



ルーマニア



ロシア



日本

大文字/小文字変換



変換無し



全て大文字に変換



全て小文字に変換

4.3. USB-COM インターフェイス

下記のマトリクスコードをスキャンすることで、USB-COM インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。



[注意]

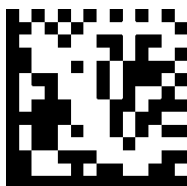
元の設定値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

[参考]

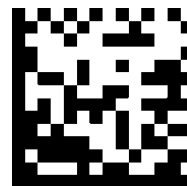
USB-COMドライバは、弊社WEBサイトよりダウンロードをお願いします。

5. 読み取り動作に関するパラメータ

5.1. 反転ビデオモード



有効



無効

5.2. イルミネーション(読み取り照明)



照度 高いレベル



照度 中レベル



照度 低いレベル



イルミネーション無し

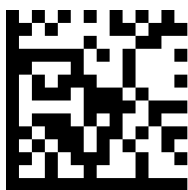


アイドル時照明オン

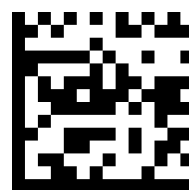


アイドル時照明オン

5.3. グットリードビーフ

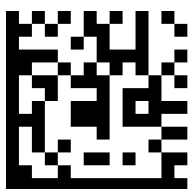


有効

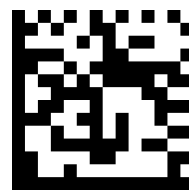


無効

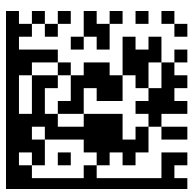
5.4. グットリードビーフ 音色



低音

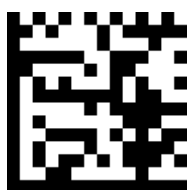


中音

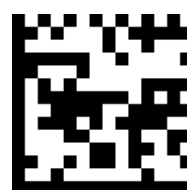


高音

5.5. グッドリードビーフ長

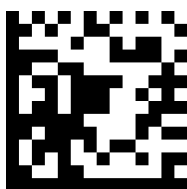


標準



短い

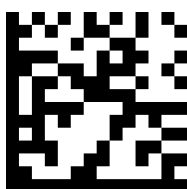
5.6. グッドリードビーフ回数



1回



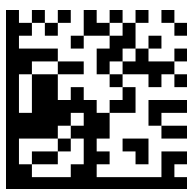
2回



3回



4回

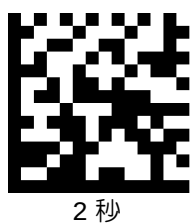
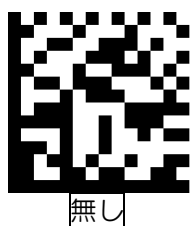


5回

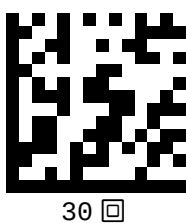
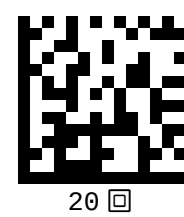
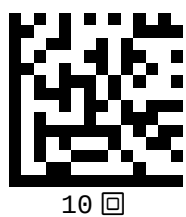
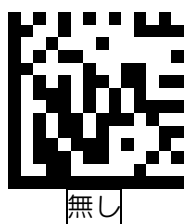


6回

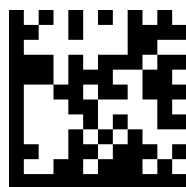
5.7. 読み取り delays



5.8. 読み取り照合回数



5.9. 画像転送



(*) 現在未対応の機能です。

5.10. シリアルリガモード

下記のコマンドをスキャンすることでシリアルリガモードが有効となります。シリアルリガモードでは、下記のシリアルコマンドにより、バーコードリーダーの読取開始・終了を制御することが可能です。

読取開始コマンド	02hex 54hex 0Dhex
読取終了コマンド	02hex 55hex 0Dhex

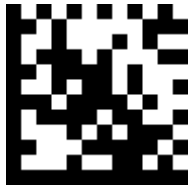
バーコードリーダーは、読取開始コマンドを受信すると、コード読み取りを開始し、コード読み取りに成功するか、読取終了コマンドを受信すると、終了します。



(*) シリアルインターフェイスのデフォルトパラメータは、115.2Kbps, 8データビット, パリティ無しです。

6. データフォーマット

6.1. ターミネータ



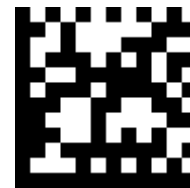
CR



LF



CR/LF

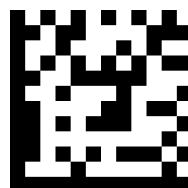


TAB

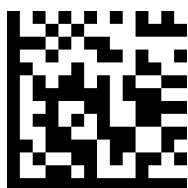
6.2. プリフィックス

「プリフィックス」をスキャンした後、設定したいプリフィックスを 16 進数コード (補足 B. 16 進数コード表を参照) でスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。例えば、「ABC」に設定したい場合は、「プリフィックス」「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」の順でスキャンします。「プリフィックス」をスキャンした後、続けて「9」「9」を必ずスキャンしてください。

プリフィックスは、最大 xx 桁まで設定可能です。



プリフィックス



確定

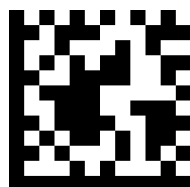


キャンセル

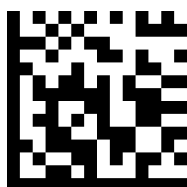
6.3. サフィックス

「サフィックス」をスキャンした後、設定したいプリフィックスを 16 進数コード (補足 B. 16 進数コード 表を参照) でスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。例えば、「ABC」に設定したい場合は、「サフィックス」「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」の順でスキャンします。「サフィックス」をスキャンした後、続けて「9」「9」を必ずスキャンしてください。

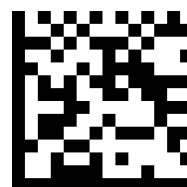
サフィックスは、最大 xx 桁まで設定可能です。



サフィックス

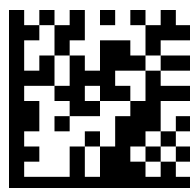


確定



キャンセル

6.4. 全プリフィックス/サフィックス消去



7. 読み取りコード

7.1. 全コード 読み取り



全コード 読み取り
有効



全コード 読み取り
無効

7.2. コード 128

シリアルマントを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルマントについては、「補足 D. シリアルマント」を参照ください。



コード 128
デフォルト値にリセット



コード 128 読み取り
有効

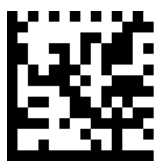


コード 128 読み取り
無効

7.3. JAN/EAN-8



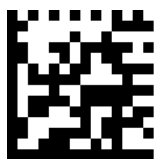
JAN/EAN-8
デフォルト値にリセット



JAN/EAN-8 読み取り
有効



JAN/EAN-8 読み取り
無効



JAN/EAN-8 チェックデジット送信
有効



JAN/EAN-8 チェックデジット送信
無効



JAN/EAN-8 2桁読み取り
有効



JAN/EAN-8 2桁読み取り
無効



JAN/EAN-8 5桁読み取り
有効



JAN/EAN-8 5桁読み取り
無効



JAN/EAN-8 アト 必須読み取り
有効



JAN/EAN-8 アト 必須読み取り
無効



JAN/EAN-8
アト オセパ レタ(スハ°-ス<0x20>)送信
有効

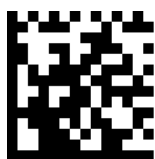


JAN/EAN-8
アト オセパ レタ(スハ°-ス<0x20>)送信
無効

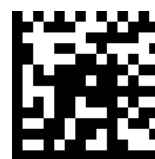
7.4. JAN/EAN-13



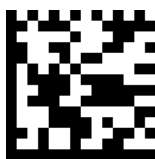
JAN/EAN-13
デフォルト値にリセット



JAN/EAN-13 読み取り
有効



JAN/EAN-13 読み取り
無効



JAN/EAN-13 チックデータ送信
有効



JAN/EAN-13 チックデータ送信
無効



JAN/EAN-13 7桁目 2 読み取り
有効



JAN/EAN-13 7桁目 2 読み取り
無効



JAN/EAN-13 7桁目 5 読み取り
有効



JAN/EAN-13 7桁目 5 読み取り
無効



JAN/EAN-13 アド必須読み取り
有効



JAN/EAN-13 アド必須読み取り
無効



JAN/EAN-13
アドオンレタ(スキャン<0x20>)送信
有効



JAN/EAN-13
アドオンレタ(スキャン<0x20>)送信
無効



JAN/EAN-13 ISBN 変換
有効



JAN/EAN-13 ISBN 変換
無効



定期刊行物・新雑誌コード(491+アド5)
有効



定期刊行物・新雑誌コード(491+アド5)
無効



書籍2段 JANコード(978,192)
有効



書籍2段 JANコード(978,192)
無効

7.5. UPC-E



UPC-E
デフォルト値にリセット



UPC-E0 読み取り
有効



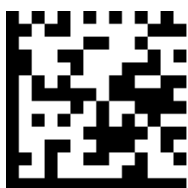
UPC-E0 読み取り
無効



UPC-E1 読み取り
有効



UPC-E1 読み取り
無効



UPC-E0 チックデータビット送信
有効



UPC-E0 チックデータビット送信
無効



UPC-E0 UPC-A 変換
有効



UPC-E0 UPC-A 変換
無効



UPC-E0 アド 2 読み取り
有効



UPC-E0 アド 2 読み取り
無効



UPC-E0 アド 5 読み取り
有効



UPC-E0 アド 5 読み取り
無効



UPC-E0 アド 必須読み取り
有効



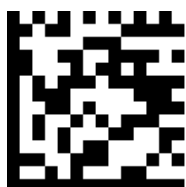
UPC-E0 アド 必須読み取り
無効



UPC-E0
アド オペレータ(スキャン<0x20>)送信
有効



UPC-E0
アド オペレータ(スキャン<0x20>)送信
無効



UPC-E0 ナバ -システム送信
有効



UPC-E0 ナバ -システム送信
無効

7.6. UPC-A



UPC-A
デフォルト値にリセット



UPC-A 読み取り
有効



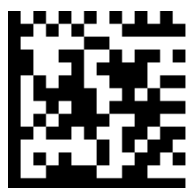
UPC-A 読み取り
無効



UPC-A チェックデジット送信
有効



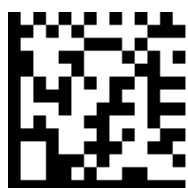
UPC-A チェックデジット送信
無効



UPC-A アドバンス 2 読み取り
有効



UPC-A アドバンス 2 読み取り
無効



UPC-A アドバンス 5 読み取り
有効



UPC-A アドバンス 5 読み取り
無効



UPC-A アト 必須読み取り
有効



UPC-A アト 必須読み取り
無効



UPC-A
アト オセパ レタ(スハ°-ス<0x20>)送信
有効



UPC-A
アト オセパ レタ(スハ°-ス<0x20>)送信
無効



UPC-A ナバ°-システム送信
有効



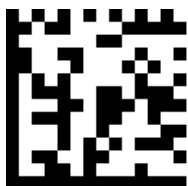
UPC-A ナバ°-システム送信
無効

7.7. インターリーブド 2/5

シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



インターリーブド 2/5
デフォルト値にリセット



インターリーブド 2/5 読み取り
有効



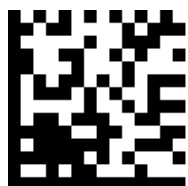
インターリーブド 2/5 読み取り
無効



インターリーブド 2/5
チェックビット検査無し・送信無し



インターリーブド 2/5
チェックビット検査有り・送信有り



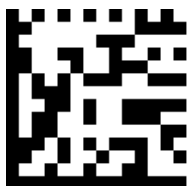
インターリーブド 2/5
チェックビット検査有り・送信無し

7.8. インタ ストリアル 2/5

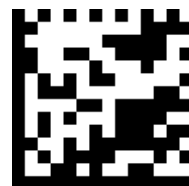
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



インタ ストリアル 2/5
デフォルト値にリセット



インタ ストリアル 2/5 読み取り
有効



インタ ストリアル 2/5 読み取り
無効

7.9. コード 39

シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



コード 39
デフォルト値にリセット



コード 39 読み取り
有効



コード 39 読み取り
無効



コード 39 フルアスキー読み取り
有効



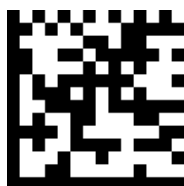
コード 39 フルアスキー読み取り
無効



コード 39 スタート/ストップキャラクタ送信
有効

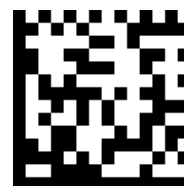


コード 39 スタート/ストップキャラクタ送信
無効



コード 39

チェックビット検査無し・送信無し



コード 39

チェックビット検査有り・送信有り



コード 39

チェックビット検査有り・送信無し

7.10. コーダバー(NW7)

シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



コーダバー(NW7)
デフォルト値にリセット



コーダバー(NW7)読み取り
有効



コーダバー(NW7)読み取り
無効



コーダバー(NW7)スタート/ストップキャラクタ送信
有効



コーダバー(NW7)スタート/ストップキャラクタ送信
無効



コーダバー(NW7)
チェックビット検査無し・送信無し



コーダバー(NW7)
チェックビット検査有り・送信有り



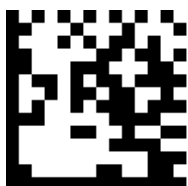
コーダバー(NW7)
チェックビット検査有り・送信無し

7.11. コード 93

シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



コード 93
デフォルト値にリセット



コード 93 読み取り
有効



コード 93 読み取り
無効



コード 93 連結
有効



コード 93 連結
無効

7.12. GS1-128

シリアルマシ`を使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルマシ`については、「補足 D. シリアルマシ`」を参照ください。。



GS1-128
デ ィ フ ァ ル ト 値 に リ セ ッ ト



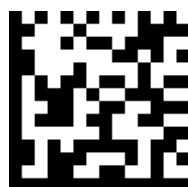
GS1-128 読 み 取 り
有 効



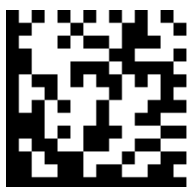
GS1-128 読 み 取 り
無 効

7.12. MSI

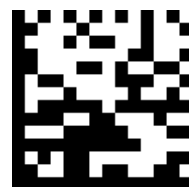
シリアルマシ`を使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルマシ`については、「補足 D. シリアルマシ`」を参照ください。。



MSI
デ ィ フ ァ ル ト 値 に リ セ ッ ト



MSI 読 み 取 り
有 効



MSI 読 み 取 り
無 効



MSI チェックサム(タイプ 10)検査有り・送信有り



MSI チェックサム(タイプ 10&11)検査有り・送信有り



MSI チェックサム(タイプ 10&11)検査有り・送信無し



MSI チェックサム(タイプ 10)検査有り・送信無し



MSI チェックサム(タイプ 10x2)検査有り・送信無し



MSI チェックサム(タイプ 10x2)検査有り・送信有り



MSI チェックサム検査無し

7.14. PDF417

シリアルマシットを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルマシットについては、「補足 D. シリアルマシット」を参照ください。。



PDF417

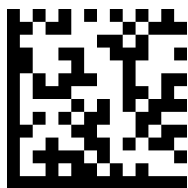
デフォルト値にリセット



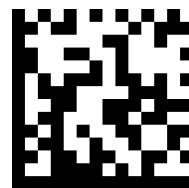
PDF417 読み取り
有効



PDF417 読み取り
無効



microPDF417 読み取り
有効



microPDF417 読み取り
無効

7.15. QR コード

シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



QR コード
デフォルト値にリセット



QR コード 読み取り
有効



QR コード 読み取り
無効



QR コード 連結
有効



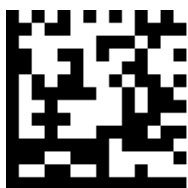
QR コード 連結
無効

7.16. Data Matrix

シリアルマントを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルマントについては、「補足 D. シリアルマント」を参照ください。。



Data Matrix
デフォルト値にリセット



Data Matrix 読み取り
有効



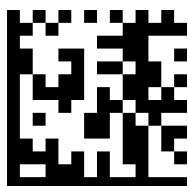
Data Matrix 読み取り
無効

7.17. Maxi コード

シリアルマントを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルマントについては、「補足 D. シリアルマント」を参照ください。。



Maxi コード
デフォルト値にリセット



Maxi コード 読み取り
有効



Maxi コード 読み取り
無効

7.18. Aztec コード

シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



Aztec コード
デフォルト値にリセット



Aztec コード 読み取り
有効



Aztec コード 読み取り
無効



Aztec コード 連結
有効



Aztec コード 連結
無効

補足 A. ASCII コード 表

ASCII コード 表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

補足 B. 16 進数コード表



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D

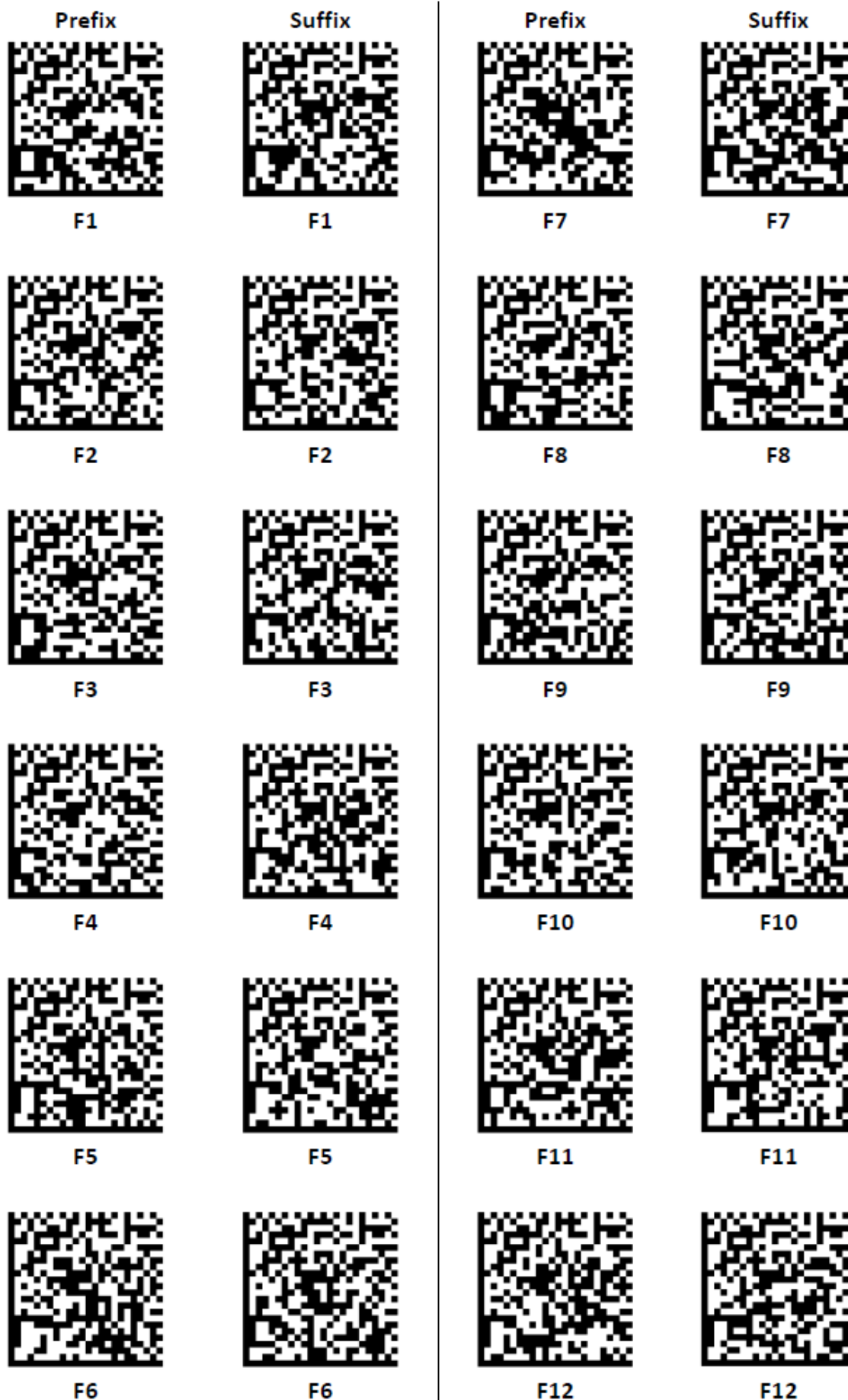


E



F

補足 C. プリフィックス/サフィックス用ファンクションキー



Prefix	Suffix	Prefix	Suffix
			
TAB	TAB	↑	↑
			
ESC	ESC	↓	↓
			
ENTER	ENTER	←	←
			
HOME	HOME	→	→
			
END	END		
			
SPACE	SPACE		Clear Insert Key

補足 D. 読取コード桁数を設定する

コードタイプ	最小桁数	コード	最大桁数	コード	コードフォーマット
コード 128	0	020A02	90	020A03	Min: 020A02xx Max: 020A03xx
インターコード 2/5	2	020403	80	020404	Min: 020403xx Max: 020404xx
マトリクス 2/5	1	020802	80	020803	Min: 020802xx Max: 020803xx
インターストリアル 2/5	1	020602	48	020603	Min: 020602xx Max: 020603xx
コード 39	0	020307	48	020308	Min: 020307xx Max: 020308xx
コードバー(NW7)	2	020205	60	020206	Min: 020205xx Max: 020206xx
コード 93	0	020D02	80	020D03	Min: 020D02xx Max: 020D03xx
GS1-128	0	020B02	80	020B03	Min: 020B02xx Max: 020B03xx
MSI	4	020E03	48	020E04	Min: 020E03xx Max: 020E04xx
PDF417	1	021F05	2750	021F06	Min: 021F05xx Max: 021F06xxxx
QRコード	1	023702	7089	023703	Min: 023702xx Max: 023703xxxx
Data Matrix	1	023602	3116	023603	Min: 023602xx Max: 023603xxxx
Maxiコード	1	023402	150	023403	Min: 013402xx Max: 023403xxx
Aztec	1	023305	3832	023306	Min: 023305xx Max: 023306xxxx
Hanxin	1	023802	7833	023803	Min: 023802xx Max: 023803xxxx

[注意]

Xには、最小・最大桁数を指定します。指定する桁数がXXの数に満たない場合は、0で補てんしてください。

例：QRコード 最小桁数 5桁、最大桁数 10桁の場合

最小桁数 : 02370205
最大桁数 : 0237030010

コードフォーマット例 ①

QRコード 最小桁数 5桁			
フィールド	ヘッダ	コード	ターミネータ
ASCII	STX 0xF0 ETX	02370205	.
HEX	0x02 0xF0 0x03	0x30 0x32 0x33 0x37 0x30 0x32 0x30 0x35	0x2E

コードフォーマット例 ②

QRコード 最大桁数 10桁			
フィールド	ヘッダ	コード	ターミネータ
ASCII	STX 0xF0 ETX	0237030010	.
HEX	0x02 0xF0 0x03	0x30 0x32 0x33 0x37 0x30 0x32 0x30 0x30 0x31 0x30	0x2E

設定方法

1. 上記コードを、シリアルコードとしてリーダーに送信します。シリアルコード受信するとリーダーは、下記の応答を行います。

肯定応答 : <ACK>. (0x06 0x2E)
否定応答 : <NAK>. (0x21 0x2E)

2. 上記コードを Data Matrix コードでエンコードし、そのコードをリーダーで読み取ることで設定を行うこともできます。但し、専用 Data Matrix コードを生成する必要がありますので、弊社までご依頼ください。必要な設定コードを作成し、ご提供させていただきます。

補足 E. サンプルバーコード

コード 39



JAN-13



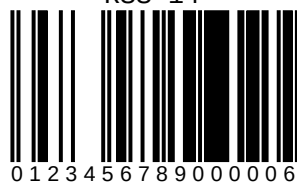
インタープット 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14



PDF417



PDF417 Sample

データマトリクス



DataMatrix

Aztec



Aztec

QR(モデル2)



QR CODE MODEL 2

反転 QR(モデル2)



QR Nega

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドバツ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		F A X 番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番 (名称)			
製造番号 (S/N)			
付属品	ケーブル[]・A Cアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。 症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1 日に [] 回程度 インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB ☐ その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 [] その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印